

## ワーキングスペースのご案内



- 場所 利根町図書館 2階
  - 開館時間 9:30~17:00
  - 休館日 月曜日、年末年始  
月末資料整理日  
特別整理期間  
図書館の定める日
  - 料金 無料
- ※ワーキングスペースは、利根町生涯学習センター1階にもございます。

**お気軽にご利用ください**

今年も夏休み期間中に、昨年も好評だった「図書館ビンゴ」を開催します。また、8月3日には映画会として、アニメ「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」を上映します。

ほかにも「感想文を書く会」、「工作教室」など、子ども向けのイベントをたくさん企画していますので、ぜひご参加ください。

2階には、ワーキングスペースもあり、静かな環境で勉強やお仕事などができます。

これからも、利根町図書館は、小さなお子さまから、学生、社会人、高齢者まで、幅広い世代の方々に、楽しくご利用いただける施設を目指してまいりますので、どうぞご利用ください。



児玉 カツ子 さん (もえぎ野台)

### 利用者の声

利根町図書館は、開館当時から25年以上利用しています。とても居心地がいいので私の一番のお気に入りの場所です。歴史が好きなので、歴史関係の本を一度に5~6冊借りたり、趣味の手芸用の型紙を借りたり、幅広く利用させてもらっています。探している本がない時には、岩手県から本を取り寄せてもらったこともありました。



**リクエストにもお応えしています**

図書館に置いてある本は、図書館司書が中心に選定をしているほか、定期的にスタッフ全員で話し合っていて決めています。

また、図書館に置いてほしい本があれば、利用者がリクエストカードでリクエストすることもできます。

利用者からの要望は、近隣の図書館から借り入れたり、新たに購入するなど、なるべく要望に応えるようにしています。

図書館の2階には、大きな書庫があり、閲覧室に置いていない本が書庫にあることもあるので、お目当ての本が見つからない場合は、お気軽にご相談ください。

また、調べたいことや探している資料などのお問い合わせについて、必要な資料・情報をご案内する「レファレンスサービス」も行っています。

例えば、「たけのこの料理法について知りたい」とか、「昨日聞いたラジオに出ていた学者の名前が知りたい」など、「調べもののお手伝い」をするサービスです。

必要な情報をよく聞き取り、場合によっては茨城県立・国立国会図書館等に問い合わせをするなど、利用者が求める情報にたどり着けるよう努めていますので、何か調べものがある方は、図書館のリファレンスサービスをご利用ください。



毎年4月23日から5月12日は、「こどもの読書週間」です。

「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を、との願いから、昭和34年に誕生しました。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

町では、今年3月に「利根町子ども読書活動推進計画(第2次)」が策定されました。これからも、子どもたちの読書振興のため、様々な事業を展開してまいります。



「柳田國男と民俗コーナー」にある柳田國男まつる歴史的な文書も多数展示しています。



玄関前の花壇は、ボランティアの方々の手によっていつも綺麗な花々が並んでいます。

**個人情報、守られています**

図書館では、過去の貸し出しデータなどの記録は、一切残していません。分かるのは現在貸し出ししていることだけです。

利用者のプライバシーや個人情報を守るのも図書館の義務です。安心してご利用ください。

## 利根町図書館

- 住所 利根町下曾根 278-1
- 開館時間 9:30~17:00
- 休館日 月曜日、年末年始  
月末資料整理日、特別整理期間  
図書館の定める日
- 電話番号 0297-68-8868



図書館カレンダー



蔵書検索ページ



本に関することや、調べものなどで、お困りの時は...

## 私たち、図書館司書にご相談ください!

司書 山崎 亮太 さん  
おすすめの本:「ももたろう」(著者:ガタロー☆マン)



子供のころの調べ学習で図書館を利用した時に、資料探しに悩んでいた時があって、当時の図書館員さんが声を掛けてくれて、私の断片的な情報から、必要な資料を見つけてくれたことがありました。この少ない情報からの確に資料を見つけてくれたところに憧れて私も司書になりました。今の時代の動画ではなく、絵や文字で展開される本のストーリー構成が好きでした。

司書 下田 英孝 さん  
おすすめの本:「おまえうまそうだな さよならウマソウ」(作:宮西 達也)



小学生のころから本が好きで、よく読んでいました。漠然と本に関係する仕事がしたいと考えていましたが、本格的に司書という仕事を目指したのは大学を卒業してからです。小学校の図書室に毎日行って、高学年になってから図書委員もやりました。亡くなった父が小学校2年生の時に買ってくれた「野口英世」の伝記は、今でも大切に持っています。